

今回は大阪府狭山市と高石市の小学校に英語支援者として入り、担任の先生方との打合せで授業目標について全員で共通理解を深め、より良い授業展開を目指されている根本さんの実践報告です。



根本孝女さん

J-SHINE 小学校英語上級指導者
大阪狭山市公立小学校 外国語活動支援者(2校)
(NPO法人大阪狭山小学校英語活動支援の会 所属)
高石市公立小学校 英語サポーター

J-SHINE 通信

2015年5月号

■小学校英語活動に関わるようになったきっかけ

学生時代、私は英語が大嫌いでした。そんな私が大手化学メーカーで広報部に配属され、人事部の勧めでしぶしぶ英語学習を始めて十数年後、夫の転勤で米国に約3年半居住する機会を得ました。現地の友人の助けを借りて出産、育児をする中で、国籍、人種を越えて人として分かり合えることを身をもって経験しました。そしてその素晴らしい経験をサポートしてくれたのが英語で自分の意志を伝える力でした。帰国後、自宅で子どもたちにアメリカの文化や英会話を教えるようになりましたが、ただ我流に教えるのではなく、子どもが楽しくそして効率的に英語を学べる指導技術を身につけたいと思い、「mpi 松香フォニックス」の講座で学び J-SHINE 資格を取得しました。

次男が小学校に入学したのを機に活動の幅を広げたいと思っていたところ、J-SHINE からの情報提供で大阪狭山市で小学校外国語活動の支援者を募集していることを知りました。わが子が米国で「乾いたスポンジが水を吸うように」抵抗なく英語を吸収していく様子を傍で見て、「少年期は英語を学び始めるのに最適な時期だ」と実感していたこと、子どもたちが学校に行っている間に出来る仕事であること、自分の得意な分野で社会貢献が出来ることから、この活動に参加することを決意しました。

その後、この会は「大阪狭山小学校英語活動支援の会」として NPO 法人となり、市から予算を得て全小学校に支援者を派遣、私も6年生の支援(年間35時間)に入らせていただき、小学校英語に関わることになりました。

これに加え2年前からは高石市の公立小学校でも「英語サポーター」として3年生の授業(年間15時間)の支援をしています。きっかけは市内全小学校で1年生から外国語活動を開始するのに伴い、市教委が地域の英語が堪能な人材を「英語サポーター」として募集しているのを知り登録したことです。ま

たサポーターとしてお手伝いしたことが縁で、昨年度は高石市・忠岡町の小教研の講師の依頼をいただき、小学校教員を対象に2回にわたって研修会をさせていただきました。

上級指導者資格は軽い気持ちで取得したのですが、高石市で「英語サポーター」登録した際、この資格を持っている事で指導技術があるだけでなく、「実際に学校で指導した時間数が相当ある経験者である」と受け止めてもらえました。自分のキャリアについて客観的に証明できるので取得して良かったと思っています。

■現在の活動状況

現在は自宅で英会話を教える傍ら、大阪狭山市の公立小学校2校で5、6年生の外国語活動を支援しています。うち一校は担当して5年目になるため、学校の先生方とも良い関係を築けています。この学校は小中連携を行っているので、6年生は中学校から英語科教員が派遣され、“Hi, friends! 2”に沿った内容で授業を主導されています。私は JTE として ALT がいない期間は ALT の様な役割を担うほか、これまでの経験から小学生の興味を引く導入方法やチャンツ、アクティビティなどを提案させていただいています。5年生は学級担任と私で TT (チームティーチング) で授業を行っています。授業案は“Hi, friends! 1”で学ぶ内容をベースにしなが、担任の先生方と授業案を相談して作成しています。ALT は半年間派遣されますが、その期間は私が学級担任と ALT との橋渡し役になっています。

高石市では3年生の英語活動を支援しています。こちらでは私と ALT で TT を行っています。学級担任は授業がスムーズに行われるよう子供たちをリードし声かけしたり、パソコンなどの操作を行ってくださっています。ベースとなる授業案は私が作成し、それをたたき台として学級担任全員が集まって打合

せをして内容を最終決定しています。打ち合わせは、どちらの小学校も当日分ではなく次回の授業について行っています。打合せで授業目標について全員で共通理解を深め、一週間かけて各自、指導手順や役割分担を確認することが出来るのでスムーズでテンポのあるTTの授業が展開出来ていると思っています。

ティームティーチングの実践のため最も大切なことは、まず学級担任と信頼関係を築くことです。先生方は授業の準備以外にも生活指導や行事の準備、書類作成など常に忙しくされていますが、わずかな時間を見つけて少しでも多く先生と話をするように心がけています。



■ 上級指導者を目指す方へ

一口に英語活動と言っても、学校、クラスによって全くカラーが違うので、それぞれにあった授業を組み立てる必要があります。私たち支援者は小学校英語活動のスペシャリストとして、それぞれにあった導入方法やアクティビティ、チャンツ、ゲームなどを先生に提案出来るよう常に準備をしておかなくてはなりません。J-SHINE資格を取得したから終わりではなく、継続して研修会や研究授業などに参加し最新の情報を収集するとともに指導技術を常に研鑽しなければならぬと思っています。

小学校支援は色々大変なこともありますが、子どもが笑顔で友達と協力しながら活動に取り組んでいる姿を見た時、「世界って日本と違うところがいっぱいあるんだなあ」と気付いた時、「英語って難しいのかと思ってたけど楽しいなあ！」と言ってくれた時、また先生から「英語の時間は子どもたちにとっても自分にとっても心のオアシスです！」と言葉をいただいた時、支援をして良かったと感じる瞬間はいくらでもあります。多くの子どもたちは外国語活動で初めて英語に触れることとなります。そんな人生で初めての瞬間に立ちあえるのは本当に幸運なことです。出会いは第一印象が大事だと言われますが、私は子どもたちと英語の出会いが「楽しくワクワクするものになるように」との思いで活動しています。「先生の授業はすごく楽しかった！なぜならTakajo先生のスマイルがすごく良かったから。」と言ってもらえた時は本当にうれしかったです。小学校に入ることをためらわれている方は勇気を出してぜひ一歩を踏み出して欲しいと思っています。この仕事は与えるものより受け取るものが多い、子どもたちからたくさんパワーをもらえる素晴らしい仕事なのであります。

* J-SHINE 通信 Web ページ

この2015年5月号をはじめ、過去に発行したJ-SHINE通信はすべてJ-SHINEのWebサイトから配信しています。

こちらからご覧ください。

<http://www.j-shine.org/tsuushin.php>

